



取締役頭取

り) と 新

## GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。多くの皆様に琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」（2021年度中間ディスクロージャー誌）を作成しました。

2021年度上半期の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の第5波が全国に拡大した結果、「まん延防止等重点措置」「緊急事態宣言」が多くの都道府県において適用され、上半期はほとんどの期間において行動が制限されました。その結果、個人消費は引き続き弱含み、生産および企業収益も低迷し、全体としては、引き続き厳しい状況となりました。

県内経済は、2021年4月12日に始まった「まん延防止等重点措置」が2021年5月23日には「緊急事態宣言」に移行され、最終的に2021年9月30日まで延長されたことで、上半期はほとんどの期間において行動が制限されました。その結果、個人消費は引き続き弱含み、建設は民間工事の回復が鈍く、観光は低迷状況が継続し、全体としては、引き続き後退の動きとなりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が長引いたことで、沖縄県経済は大きな影響を受けました。ワクチン接種が進み、2021年10月には「緊急事態宣言」も解除されたことで徐々に経済活動が再開されていますが、経済回復にはまだ時間を要するとみられます。

このような厳しい環境下でも、地域金融機関の役割は「地域経済の持続的な発展を支えるため、円滑な資金供給と金融サービスを提供すること」と認識しています。中期経営計画「SINKA2020」では、「景況に左右されず、どんな時も地域を支え、地域の発展に寄与する真のリーディングバンクへ」を目指す姿に掲げています。「SINKA2020」には、前回の中期経営計画の流れを汲みつつ、預金、融資、為替といった銀行本来のコア業務を「進化」させ、新たに取り組んできたキャッシュレス決済などの銀行付随業務の「深化」を図り、りゅうぎんグループ全役職員がチャレンジし続けることで「SINKA」していくという思いが込められています。中期経営計画2年目となる今年度は、コロナ禍による環境の変化で経済的苦境に陥っているお客様に対する積極的な支援策を講じる他、地域活性化に資するため、「SINKA2020」に掲げている各戦略への取り組みを「深化」させていきます。

お客様に付加価値の高いサービスを提供できる人材の育成強化を図るとともに、「チャンネル戦略」では非対面ニーズに対応するためのアプリ開発を加速し、「リテールビジネス戦略」では相続ビジネスなどの資産承継コンサルティングや資産運用コンサルティングを強化していきます。「法人ビジネス戦略」ではりゅうぎんグループ一体となった複合的な提案力を強化し、成長と事業継続に向けた支援を積極的に実施します。

併せて、株式会社沖縄銀行と締結した「沖縄経済活性化パートナーシップ」において、同行とバックオフィス事務を中心とした業務を共同化することで、生産性の向上・コスト削減を図り、生み出された経営資源をお客様へ還元していきます。

また、世界的に持続可能な社会の実現に向けた取り組みが進展する中で、社会と企業の持続的な成長の両立を目指すサステナビリティ経営の重要性が高まっています。これまで取り組んできた地域貢献活動を発展させ、当行のすべての事業領域においてサステナビリティを実践し、広く地域社会・環境の持続的な発展に貢献するとともに、りゅうぎんグループの中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

今後も引き続き、「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」という経営理念を達成すべく、地域の課題解決に努め、お客様が真に求める商品・サービスの提供に努めてまいります。

2022年1月